

乙訓平和委員会ニュース

発行年日 2023年6月25日 No.453 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

雨を衝いて、核兵器廃絶を訴え平和行進は行く 通し行進者先頭に、延べ100人が歩いた 3カ所で行進団歓迎出迎え激励も。総計120人でつないだ

6月21日に滋賀県から京都府に引き継がれた国民平和大行進は、6月22日に乙訓を歩きました。この日に限って、朝から強めの雨が降る中で向日市から長岡京市、大山崎町へとつなぎました。

雨についての向日市での出発集会

向日町競輪場駐車場での出発集会では、雨の中を約40人が参加。民医労乙訓支部の水野晃さんが司会して出発式。主催者を代表して乙訓教組の清水正博執行委員が、核兵器廃絶を求める声を上げ続けて歩く平和行進を成功させようと挨拶しました。

向日市からは、鈴木総括監が安田守市長の激励メッセージを代読し、激励金が寄せられました。東京夢の島を5月6日に出発して、歩き続けている通し行進者の村上厚子さん（新婦人広島県本部副会長、被爆2世、元広島市議 67才）が挨拶。片道切符で東京に行き、核兵器廃絶を訴え歩き広島へ帰ると

元気一杯に楽しく歩き続けていると述べました。

昨年に続き府内通し行進する小林孝企さん（京都被爆2世・3世の会、宇治市74才）が、今年は東京からの通し行進者と一緒に歩くので、元気を得たと行進を成功させる意気込みを述べました。

平和行進京都実行委員会の平信行事務局長と川上裕光事務局次長を紹介して、米重節男乙訓実行委員会事務局長が行進注意ののち、行進団は長岡京市へ向けて出発しました。

宣伝カーアナウンスは、新婦人向日支部・川上清美さん、年金者組合向日支部・柴田邦子さんが担当。一文橋では雨の中で歓迎の出迎えがありました。なおも降り続く中、行進団歓迎の歌声が響く長岡京市バンビオ広場に到着。お茶を配り報告集会で休憩。



長岡京市・縦貫道下を行く平和行進団（写真:米重節男）



雨の中、向日市を歩く村上さん(中央)、奥・小林さん、手前・平さん(村上さんツイッターから転載)

長岡京市では歌の合唱で出発集会

長岡京市では、約60人参加の中、被爆2世で年金者組合の石角敏明さんが司会を担当。歌声の皆さんのリードで「青い空は」を合唱して開会。新婦人長岡京支部の平塚洋子さんが行進団歓迎の挨拶。長岡京市は田中対話推進部次長兼共生社会推進課長が歓迎の挨拶を述べて、激励金を寄せました。

村上さんと小林さんの挨拶、事務局紹介、行進注意ののちに大山崎町に向けて出発。宣伝カーアナウンスは、新婦人長岡京支部・原木とし子さん、高田夏江さんが担当しました。

友岡のスーパー付近では歓迎の人が横断幕や宣伝グッズを持って出迎えしてくれました。さらに、大山崎町に入ると円明寺団地内で、車いすの人、グッズを持って待ち構える歓迎の一団と、激励しあいながら町役場を目指して歩き続けました。

雨がやむ頃、予定時間に大山崎町役場に到着。お茶を配って休憩。

大山崎町役場前で乙訓行進のまとめ集会

町が用意の放送機材を使って、年金者組合の後藤隆司さんが司会。大山崎町武田総務部長が行進の成功と激励の挨拶を述べ激励金が寄せられました。

村上さんは、元気に平和行進を続けて通し行進者の役目を果たしていく決意を述べ、小林さんも父親の兵隊と被爆体験をつないで、26日までの京都府内を一緒に歩く決意を語りました。

京都府実行委員会の平事務局長は、いま核兵器使用の危険性が非常に高いと指摘。核兵器廃絶こそが一番にすべきことで、被爆者の願いだと訴えました。

米重事務局長が乙訓行進のまとめで、大山崎町役場前に被爆2世4人が並んでいると紹介。行進は向日市で40人、長岡京市で60人の規模で雨の中を歩き、集会や準備、出迎えの人々を含める120人を超える規模だった。参加者と自治体などの協力にお礼を述べ、村上さんが広島に無事着くことを願い、乙訓行進の終了を報告しました。(文責:米重節男)



長岡京市友岡のスーパー店付近で横断幕やアピールグッズで出迎える人たち (写真:米重節男)



被爆2世と3世、2世と3世の元市議が激励
左後・平事務局長2世、中央・府内行進の小林さん2世。握手する2世通し行進の村上さんと3世米重健男元向日市議(村上さんのツイッターから転載)

乙訓の公立小中で24年度使用の教科書見本紹介展示会 7月5日まで

府総合庁舎内の乙訓教育局(向日市上植野町)で、24年度から小中学校用教科書見本の紹介展示会を開催中です。誰でも見られます。見てからの感想や採択にあたっての意見など、アンケートへの回答もできます。平日午前8時半～19時まで。いまの教科書がどんな内容なのか知ることができます。